



# まちがど トピックス



●70周年応援団（写真上）  
左から、声楽家の松澤政也さん、アドベンチャーランナーの高繁勝彦さん、俳優の谷ノ上朋美さん、落語家の桂文之助さん、応援団長の花岡伸和さん

●70周年記念ロゴマーク受賞者（写真右）  
左から、最優秀賞の山下遥さん、優秀賞の荒木美乃里さん、山際祐資さん



## ■市制施行70周年へカウントダウン！

2月11日、すばるホールで、市制施行70周年記念ロゴマーク表彰式、70周年応援団委嘱式が開催されました。同表彰式では、最優秀賞と優秀賞に選ばれた受賞者3人に賞状と入賞者それぞれのデザインをプリントしたポロシャツが贈られました。

また、本市ゆかりの著名人ら約40人で構成される同応援団の委嘱式には、ロンドンパラリンピック車いすマラソン5位入賞の花岡 伸和さんや落語家の桂 文之助さんらが出席し、応援団長に就任した花岡さんが団長就任への意気込みを話されました。



## ■当時の弱者に寄り添う小説を

1月25日、金剛公民館で、金剛公民館クラブ連絡会設立35周年記念講演「歴史の中に『ひと』をみる」が開催され、作家の木下 昌輝さんが自身の歴史小説に登場する「ひと」の魅力などについて、当時の時代背景を交えながら話されました。また、「当時の弱者に寄り添う小説を書いていたら」という小説を書く上で大切にしていることなどについても話され、参加者は熱心に聞き入っていました。

## ■熱演に一喜一憂

1月25日、すばるホールで、男女共同参画フォーラムが開催されました。

同フォーラムではLGBTをテーマにした講演や食と農を考えるグループディスカッションなどが実施されました。また、本市出身で俳優の谷ノ上 朋美さんによるひとり芝居「旅立ちの詩～彼女たちの羅針盤～」が上演されると、迫力ある演技に、観客は登場人物の感情に合わせて一喜一憂しながら真剣に観劇していました。



# 写真とともに見る1月～2月のできごと



## ■鮮やかに彩る富田林のミライ

2月1日、中央公民館で、公民館で描く「この街のミライ」！が開催されました。

これは、市制施行70周年のイベントとして、中央公民館中庭の物置や建物をキャンバスに見立て、「富田林の未来」をテーマに自由に絵を描いてもらうもの。参加者たちは、子どもも大人も手や顔にペンキを付けながら、動物や乗り物、植物などを自由な発想で大きなキャンバスいっぱい描いていました。

## ■元気いっぱい「鬼は～そと！」

2月3日、錦郡幼稚園で、園児たちが節分の豆まきをしました。

園児たちは、個性豊かな手作りのお面をかぶって、自分の中にいる「おこりんぼ鬼」や「好き嫌い鬼」「えんえん鬼」を追い出そうと「鬼は～そと！」と元気いっぱい豆をまいていました。豆まきの後、先生から自分の中の鬼さんを追い出せたか聞かれると、「はーい」と笑顔で手を挙げていました。



## ■チーム一丸でタスキをつなぐ

2月9日、PL教団本庁内コースで、第63回南大阪駅伝競走大会が開催されました。

当日は好天にも恵まれ、参加した156チームの選手たちは6区間18.2kmのコースをチーム一丸となって走りました。

タスキをつないで必死に走る選手の姿に沿道から「がんばれ！」「あともう少し！」など熱い声援が送られ、会場は大いに盛り上がっていました。

## ■イチゴもぐもぐおいしいね

1月31日、市農業公園サバーファームには、朝から家族連れが来園し、イチゴ狩りを楽しんでいました。

訪れた人は、ハウス内に実る真っ赤なイチゴを摘み取り、「おいしいね、おいしい！」と夢中になってもぐもぐ頬張っていました。

サバーファームのイチゴ狩りは5月下旬まで楽しめますので、ぜひお越しください。(27ページに関連記事)

